



社会新報 (岡山版) 2021年6月1日

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ複合ビル5F
Tel.03-3553-3731 1部 〒168円・月720円

岡山市北区弓之町5-7 Tel. 086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail : shamin_okayama@fancy.ocn.ne.jp

【事務所移転について】

社民党岡山県連合は7月1日、新事務所に移転します。現在、党事務所が入る北区弓之町・NP O法人岡山社会文化会館が北区辰巳に移転することに伴ない、社民党岡山県連合も同所に移転します。これまでの県民・地元の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。新生社民党は、これからも護憲・平和、いのちと暮らしを守る活動に全力をあげていきます。引き続きご理解、ご支援をお願いします。詳細は別途ご案内します。

2021年6月1日
社民党岡山県連合

津山市内の河川敷で5月1日、美作平和センター主催の津山地区メーデーが開かれ約50名が参加。コロナ感染予防から参加者数を絞り、検温・消毒・名簿記入を徹底など努力と工夫が伝わってくる。集会では、雇用と生活の安定・向上、自由で平和な社会の

全国的にコロナ感染拡大が続く中、2月に続いてオンラインで代表者会議が開かれ、宮田代表、中国ブロック女性代表に池田常幹が参加。会議の冒頭、福島党首より「皆さんの強い決意で社民党を残すことができ、コロナ禍において新自

政治の課題は遠くから

新生社民党、党勢拡大・総選挙勝利へ 全国代表者オンライン会議(5/9)



由主義は破綻し社民主義が再認識されている。人々の弱音こそ求められていることの現れである。いのちと暮らしを守り、現場の声を反映できる政治の実現のため、党勢の拡大、総選挙勝利に向け頑張ろう」と強い決意が示された。応える形で4県連合から地方の取り組みが報告された。

元気が新生社民党を

総選挙闘争方針では、現在11名の公認候補が内定し、他に中・四国・東京ブロックで調整中、全11ブロック

「コロナ感染拡大で活動が制約されるなか、創意工夫で活動」

で15名以上を擁立。野党の選挙協力が加速がかかる。また22年参院選も視野に入れ、各政党、団体との連携についても提起された。8県連合から取り組み状況や予定候補者の決意表明、意見・提言と元気な新生社民党を見せた。解散・総選挙・22参院選は社民党が国政政党として残るか否かの重要な局面となる。各県連合各党員が総力を上げて戦おうとの力強い呼びかけを受けて、オンライン画面の向こうからガンパローコールが行き交った。(宮田)



※連帯あいさつの宮田代表

「コロナ感染の労災申請を議論」

実現へ向けて取り組む決議や人形峠・放射性廃棄物の地層処分や日本原基地に反対する特別決議を確認した。社民党・宮田代表は連帯あいさつに立ち「コロナ禍において政府は国民のいのちより経済を優先。いのちと生活を優先する政治の実現にむけ野党共闘で総選挙を闘おう」と呼びかけた。集会後、恒例のブラカードコンクールでは、情勢を反映した力作が並んだ。

おかやま労働安全衛生センターは5月9日、市内で結成10年目の定期総会を開催。コロナ禍での開催に配慮をにじませていた。



節目の第10回総会で開会あいさつする平方健一 所長

高梁地区では4月26日、市総合文化会館で開催。式典も簡素化、家族も参加しての抽選会などで祝った。(宮田)

「新報岡山版」取材記

わたしは「社民主義」者。コロナ禍のなか、社民党は社会の立て直しへ政治の転換を訴えている。社民主義的政策です。「世界で一番企業が活動しやすい国」という一握りの富裕層や大企業を潤す新自由主義的政策でなく、税と使い方、雇用と社会保障の立直し、一人ひとりの尊厳と多様性のある社会です。また自助と自己責任に止めず公助です。社民主義の理念の「平和・自由・平等・共生」です。



アメリカに行った菅首相が、製薬会社トッブに電話でワクチン追加を請うたことが大きく報道された。すかさず「国際電話が高いからじゃ」とツツコミが入る。「コロナ療養者が増えたのも要因の一つ」に至っては「それはおかしいじゃろ」▼コロナ禍が家庭内の共通の話題となり、これまでの何気ない「おかしい」ことに声をあげ始めている。先日も「コロナ困窮者の支援策、職員葛藤」(朝日5/10付)が話題に。「コロナ禍で生活苦の人に、さらに追加貸付だけでいいのか」。苦悩する担当者の記事を読んで支援とは何かを問いかける。「今こそ声をあげるべきだ。」の全面広告には「コロナでも飲んじやえ!」と逆噴射しかねない▼自宅待機中に亡くなるなど、医療ひっ迫の解明なしに、自制ばかりが強調され、戒厳令だ!といわんばかりだ。「緊急事態条項」を加える改憲につながることを危惧する。自粛の限界の先に何が起るかまだ不透明がつづく。(の)

「新報」読者会
6月中止します。

定例学習・読者会

岡山版7・1号は事務所移転作業のため休刊

「案内」

6/23(水) 党定例街宣
18:00~ マツキヨ前

6/26(土)
市民と立憲野党合同宣伝
17:00~ マツキヨ前

6/26(土)~30(水)
"6・29岡山市民平和祭"
エキチカ広場 写真展・DVD鑑賞

緊急事態宣言で活動の多くが中止。活動日誌はお休みです。6月予定も不確定